

# TRICO PRO V2

## TRICO PRO V2取扱説明書

TRION製TRICO PRO V2をご購入頂き誠に有難うございます。  
TRICO PRO V2は1/10スケール電動RCカー用に設計されたESCで、ワールドチャンピオンのMarc Rheinard選手を始めとするワールドクラスのチームドライバーが製品開発を行いました。様々なコンディションやドライバーのスタイルに合わせる事が可能なソフトウェアが準備されています。本製品の性能を発揮するために、この取扱説明書を熟読してからご使用ください。詳しい情報やチームドライバーのセットアップシートは、とりおん及びマッチモアレーシングのWebサイトで確認する事ができます。

- 特長 ■
- ・受信機用配線およびスイッチ配線の向きを変更可能
  - ・モータークーリングファン用ダイレクト電源コネクター装備
  - ・リバーシブルスイッチシステム[RSS]
  - ・高電圧対応BEC電圧調整機能
  - ・一目で現在の状況がわかる2色LEDを採用
  - ・エキスパート向け前進&ブレーキ周波数セッティング機能
  - ・ブースト/ターボタイミングおよびRPM制御機能
  - ・プリンキー(ゼロタイミング)スペックレーションモード
  - ・スロットル&ブレーキレスポンスの設定可能
  - ・ユーザーが設定可能なローボルテージ&オーバーヒートプロテクションを装備
  - ・FLOW-MAX™ デザインのアルミニウム製ハウジング、30Sリサイズの高回転冷却ファン装備。
  - ・SHRプログラムカードならびにPCインターフェースによる素早いプログラム設定値の変更が可能。
  - ・ユーザーによるファームウェアの入れ替え・アップグレードが可能。

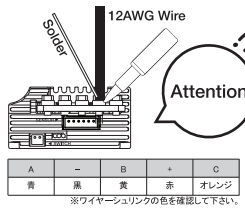
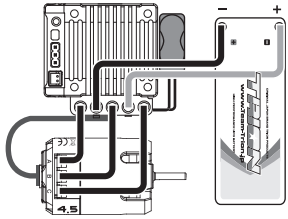
## 取扱いに関する注意事項

安全に使用して頂く為、必ず取扱説明書を熟読してからご使用ください。以下の注意事項に従わず不適切な使用方法での使用・事故は保証対象にはなりません。●本製品を保管する際はお子様の手の届かない場所に保管してください。●本製品はR/Cカーモデル用に設計されています。その他の目的では使用しないでください。●本製品を電源(バッテリー)に接続している時は放置しないでください。●すべてのワイヤーを確実に接続してください。走行中の振動や衝撃などで外れし、また制御不能になったり、ESCやバッテリーの破損を引き起こしますので注意してください。●逆接は絶対に行わないでください。●ショートを防止するためにすべてのワイヤー・コネクターが正しく接続されている事、絶縁されている事を確認してください。●本製品に水、油、燃料やその他導電性のある液体をこぼさないでください。液体が掛かってしまった場合は直ちに使用を中止し、完全に乾燥させてください。●クーリングファンのネジを締めるときは力を掛けないよう注意してください。ネジ穴の破損は保証対象外です。●使用するシャーシ、モーター、コース等に適合したギヤ比を使用してください。不適当なギヤ比で走行すると本製品やモーターが破損しますので注意してください。●モーターを無負荷状態で回し過ぎないでください。無負荷状態で回し過ぎると本製品やモーターの破損や火災などを引き起こす可能性があります。※不注意・誤った使用による感電や傷害に対して弊社では一切の責任を負いません。※品質向上のため予告無く製品の仕様を変更する事があります。

ESCモデル	TRICO PRO V2
連続/最大電流	連続電流160A / 最大電流1,200A
入力電圧	1~3セル LiPo / 2~3セル LiFe / 4~9セル NiMH/NiCd
BEC出力	6V/7.4V 設定による切り替え可能 最大電流8A
クーリングファン出力	バッテリー出力電圧による供給
対応モーター	3.5T以上
使用可能ターン数	1~2セル LiPo / 2セル LiFe / 4~6セル NiMH (オンロード) T23.5T, (バギー) T24.5T 3セル LiPo / 3セル LiFe / 7~9セル NiMH (オンロード) T26.5T, (バギー) T28.5T
サイズ	30.4mm(L) x 37.1mm(W) x 19.5mm(H)
重量	43.8g

※1S LiPoを使用する場合、オプションパーツであるTRICO 1S DC DC Booster(別売)を使用してください。

## 準備作業



製品に付属しているバッテリー・モーター用ワイヤーとキャパシタを図のとおりハンダ付けします。十分な温度になるハンダごてを使用してください。ハンダ付けの際は端子に5秒以上当てないでください。5秒以上掛かる場合は半田ごての温度を上げてください。  
(注意: 端子にハンダごてを5秒以上当てるとESC本体が破損する恐れがあります)  
ESCの端子下にあるA・B・Cのマーキングを確認し、ワイヤーとキャパシタを接続します。バッテリーワイヤー・キャパシタの極性に注意してください。逆接するとESCが破損します。

### ESCの接続とセットアップ

- 1) ESCから出ている受信機コネクターを受信機のスロットルチャンネル(CH2)に接続します。
- 2) センサーケーブルをESC右側下のセンサーポートとモーターのセンサーポートに接続します。
- 3) 両面テープを使用してESC本体、スイッチ、コンデンサーをシャーシに固定します。
- 4) 付属のネジを使用してクーリングファンを取り付け、電源コードをESC本体の電源ポートに接続します。(クーリングファンは可能な限り使用する事を推奨します。使用しない場合はESC本体の温度管理に注意を払ってください)

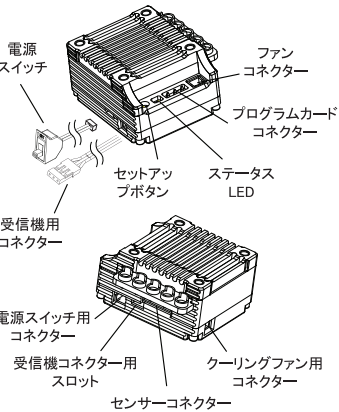
## TRICO ESCのセットアップ

モーターの予期せぬ作動を避ける為に、常にESCの電源を入れる前に送信機の電源を入れてください。受信機からのニュートラル信号を検出するまでは、自動的にモーターの作動を無効にします。

TRICO ESCと送信機の同期

ESCのセットアップを始める前に、送信機のスロットル設定をデフォルトに戻します。スロットルチャンネル(CH2)のEPAとD/Rを100%に戻し、トリムとサブトリムは0%に戻します。

※予期せぬ作動による怪我や損傷を防止する為、セットアップを行う際はピンオンギヤを取り外してください。



TRICO PRO V2 ESCは、新型スイッチシステム[RSS]を採用しています。電源スイッチを使用しない場合は、ESC本体からスイッチを外してください。スイッチを外すとESCの電源は常時オン状態になります。(この場合、バッテリーコネクターを外すことでESCの電源をオフにできます)



### STEP01. ニュートラル設定準備

1. 送信機の電源をオンにします。
2. スロットルEPA値を100%に設定します。
3. スロットルトリガー(スロットルスティック)をニュートラル位置にします。
4. セットアップボタンを押しながらESCの電源をオンにします。
5. 緑色のLEDが点灯して連続したピープ音が鳴ります。
6. セットアップボタンを離します。

### STEP02. ニュートラル設定

1. スロットルトリガー(スロットルスティック)をニュートラル位置にします。
2. セットアップボタンを1回押します。
3. 緑色のLEDが点滅したあと、赤色のLEDが点灯したらニュートラル位置の設定が完了です。(ピープ音が1回鳴ります)

### STEP03. 前進側設定

1. スロットルトリガー(スロットルスティック)をフルスロットル位置に動かします。
2. セットアップボタンを1回押します。
3. 赤色のLEDが点滅したあと、赤色と緑色のLEDが同時に点灯したらハイポイント位置の設定が完了です。(ピープ音が2回鳴ります)

### STEP04. ブレーキ(後進)側設定

1. スロットルトリガー(スロットルスティック)をフルブレーキ位置に動かします。
2. セットアップボタンを1回押します。
3. 赤色と緑色のLEDが点滅したあと、赤色のLEDが点灯したらフルブレーキ位置の設定が完了です。(ピープ音が3回鳴ります)

### STEP05. セットアップ完了

1. スロットルトリガー(スロットルスティック)をニュートラル位置に戻します。
2. 緑色のLEDが点灯または点滅してピープ音が2回鳴ります。
3. これでESCのセットアップが完了です。緑色のLEDが点灯している場合: ブーストまたはターボの設定値が1以上  
緑色のLEDが点滅している場合: ブーストとターボの設定値が両方とも0(ゼロタイミング状態)

## LEDステータスインジケーター

2色のLEDは、点灯・点滅などの違いによりESCの状況(ステータス)を表示します。内容は下記の表の様になります。

緑色LED点灯	ニュートラルポジション	緑色LED点灯 / 赤色LED点滅	オーバーヒートプロテクション作動
全色点灯	フルスロットル / 後進	全色点滅	センサーケーブル検出異常
赤色LED点灯	フルブレーキ	全色消灯	受信機からの信号を受信できず
緑色LED点滅	ニュートラルポジション(ゼロタイミングモード)	赤色LED点滅	モーター続エラー(A, B, C)

## 保証について

購入日から120日以内が保証期間となります。初期不良・正常な使用範囲内で故障等が発生した場合は、領収書をご用意して頂き購入した販売店もしくは弊社までお問い合わせください。上記の保証は、誤った使用方法による故障・改造・不適切な修理などを行った場合は保証の対象外となります。また、下記の事項についても保証の対象外となります。

- バッテリーの逆接や配線間違いによる損傷
- 物理的な損傷
- 物理的な電子部品・回路基板の損傷
- 回路基板のハンダ付け(端子の正常なハンダ付けは除く)
- 保証サービスを受ける前に、各部の接続や設定を再度確認してチェックを行ってください。
- 保証サービスを受ける場合は領収書が必要になります。(領収書が無い場合は保証サービスを受ける事ができません)
- 保証サービスを受ける際は、名前・住所・電話番号・症状を明記の上発送してください。

- 製品の修理について
- 製品を修理依頼する場合は購入時の領収書が必要になります。
- 修理価格については、故障箇所・故障部品により変わります。